

公共交通利用状況について

《目 次》

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P1
2 高校生通学ライナーバス利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P4
3 井栗地区コミュニティバス利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P5
4 循環バスぐるっとさん利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P6
5 まとめ	・ ・ ・ ・ ・	P7

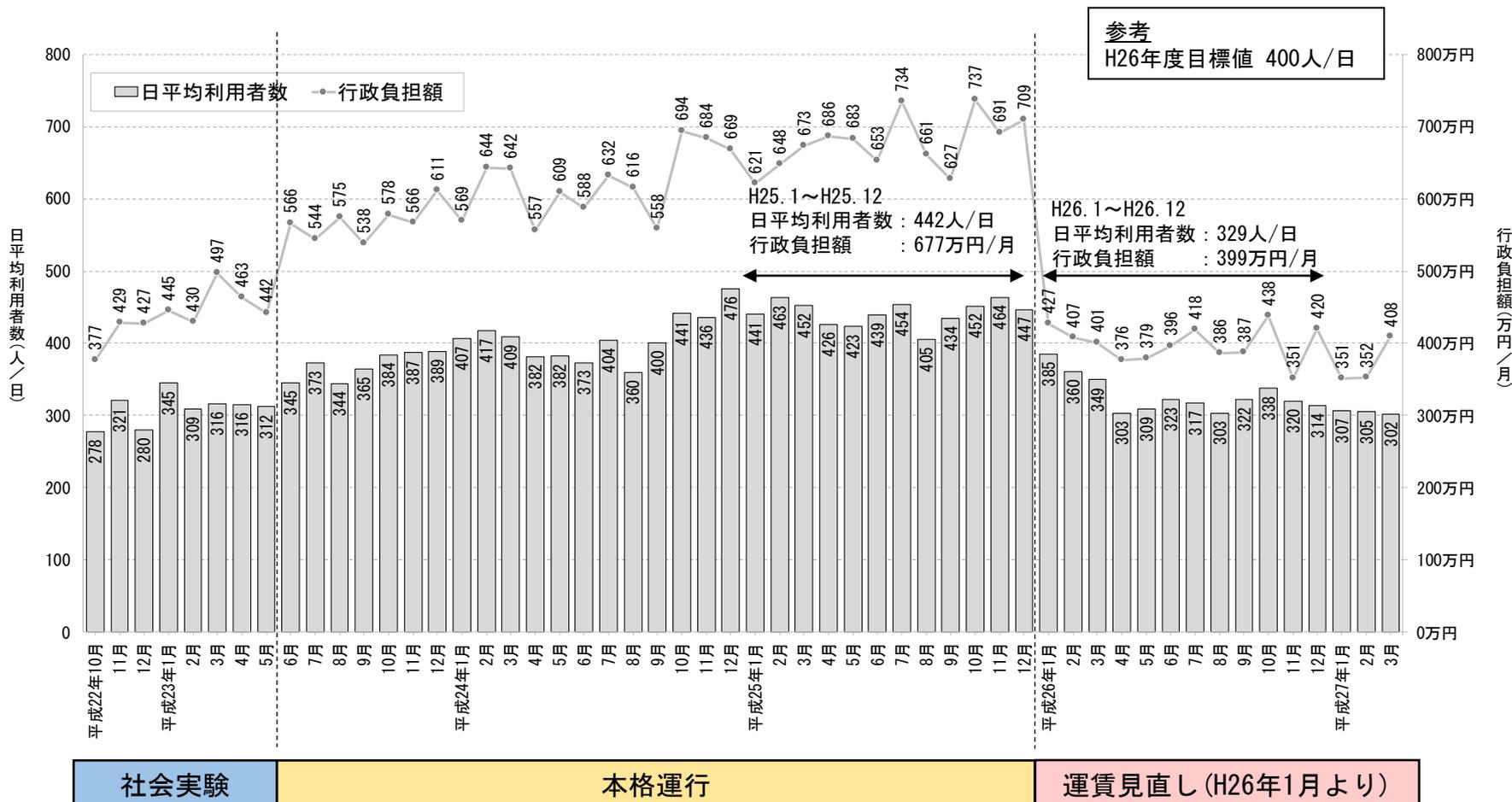
平成27年5月26日(火)

三条市地域公共交通協議会

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

利用者数と行政負担額の推移

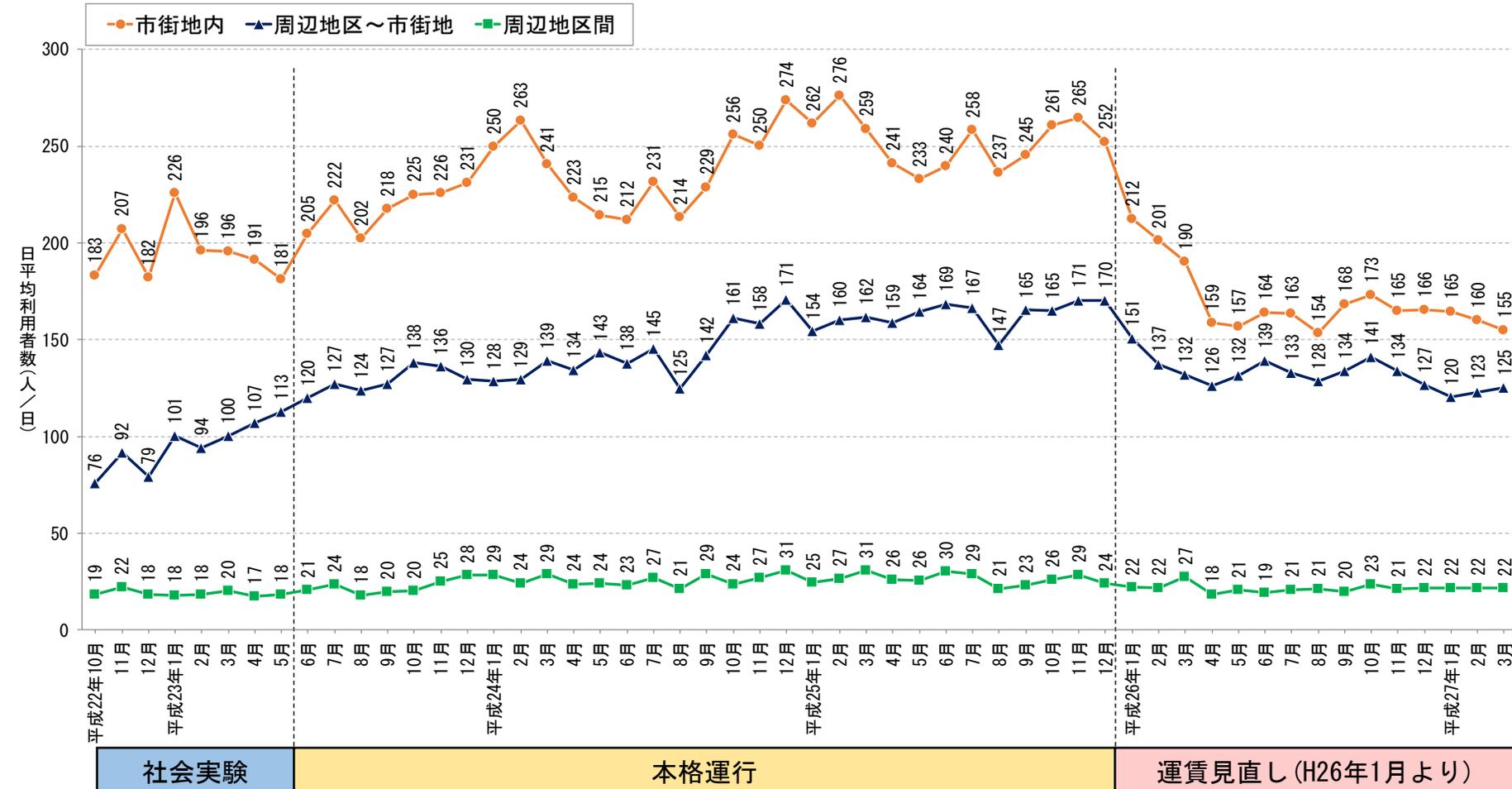
- 運賃見直しに伴い、利用者数と行政負担額は減少している。
- 運賃見直し後の利用者数は約330人/日、行政負担額約400万円/月であり、見直し前に比べて**利用者数は約26%減少、行政負担額が約41%減少**した。



1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

起点終点別の利用者数

- 市街地内の利用が大きく減少したが、その後150～170人/日の利用で安定した推移となっている。
- 周辺地区間の利用は、運賃見直し後も横ばいで推移している。



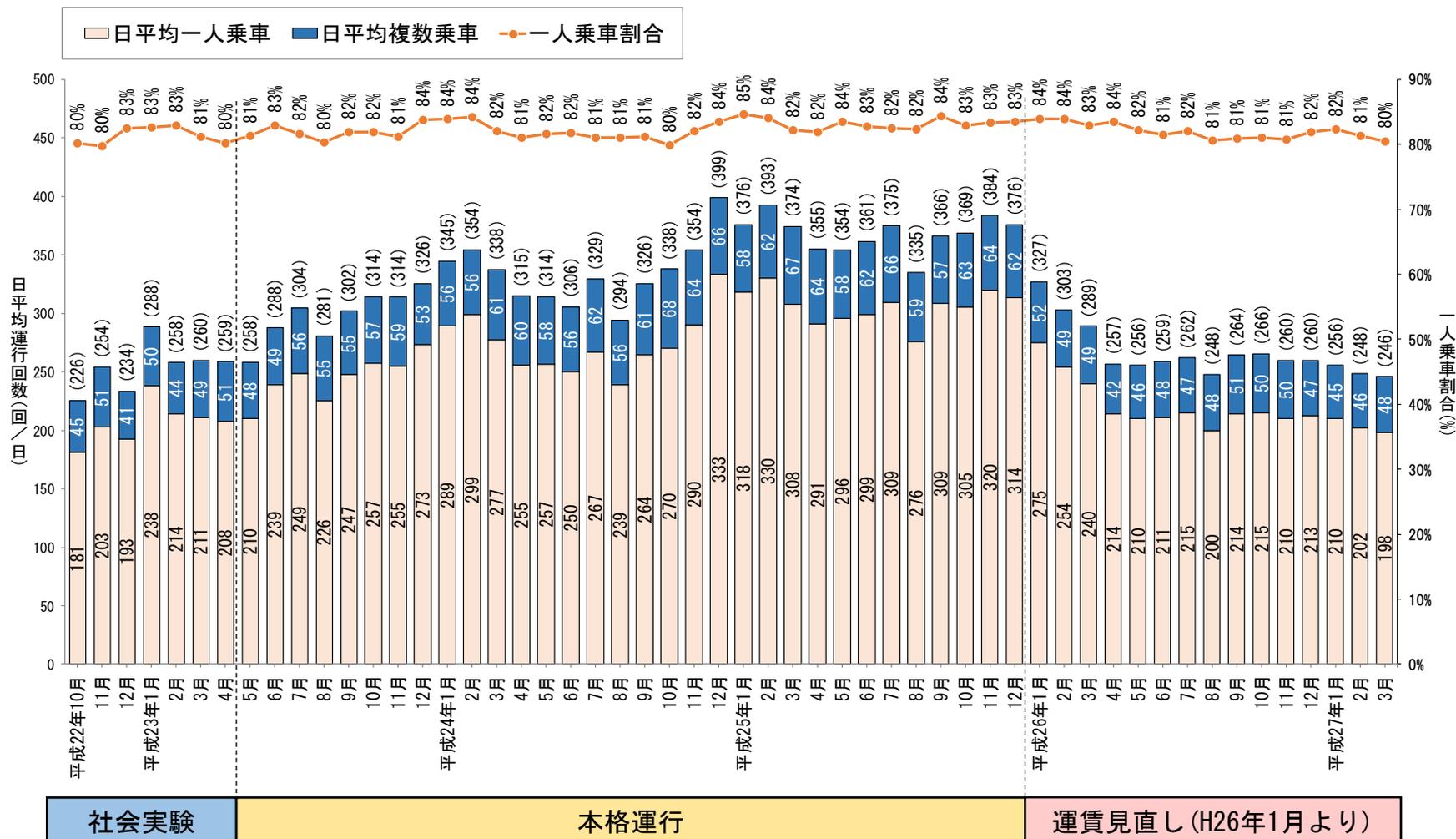
※ひめさゆり日報に基づき集計

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

一人乗車の推移

● 運賃見直し後も一人乗車割合に変化は無く、80%程度で推移している。

※()内の数字は合計



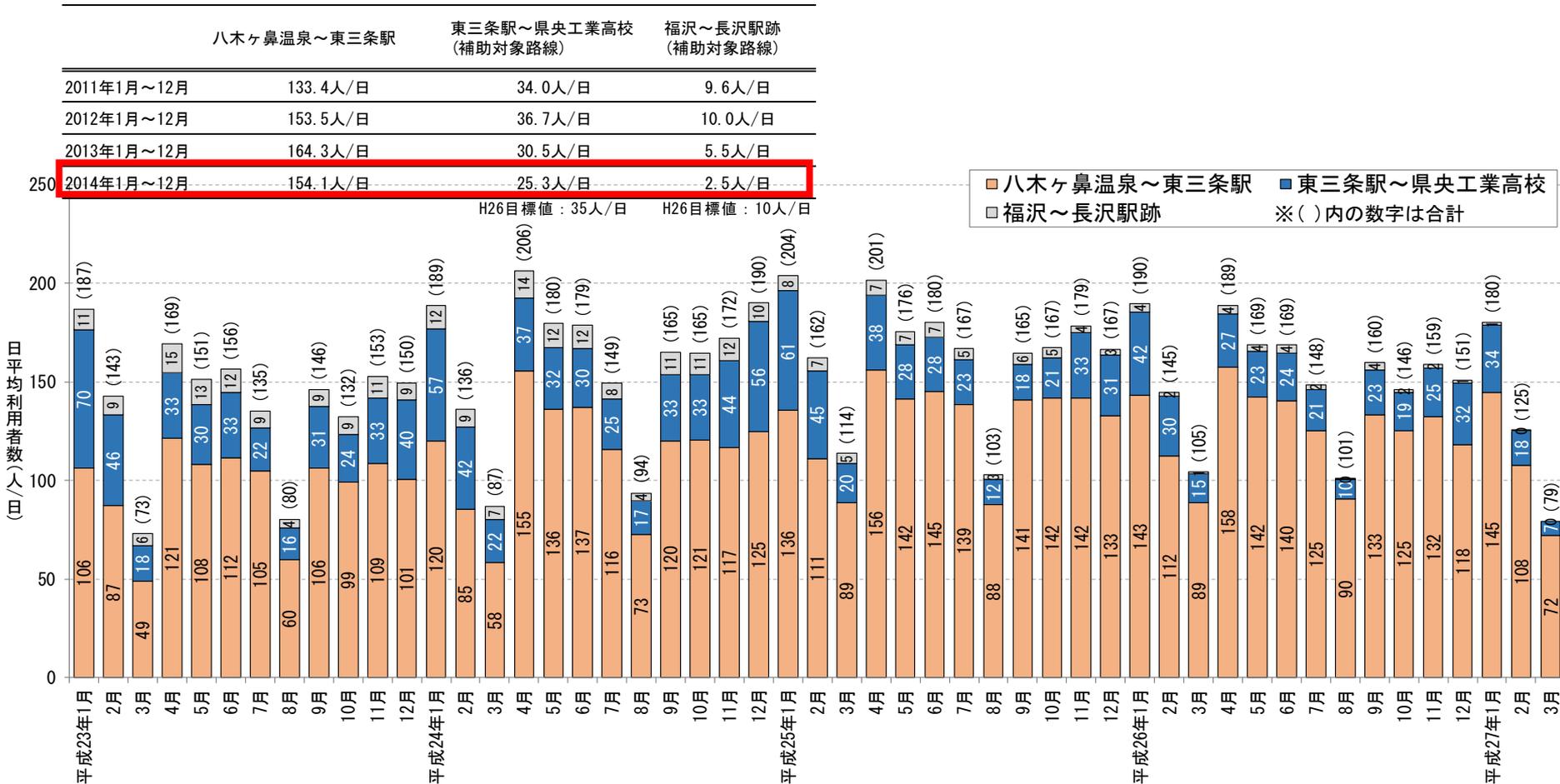
※ひめさゆり日報に基づき集計

※合計値は端数処理の関係で一致しない場合がある

2 高校生通学ライナーバス利用実績

利用者数の推移

●八木ヶ鼻温泉～東三条駅間、東三条駅～県央工業高校、福沢～長沢駅跡の全ての区間で、利用者数は減少傾向にある。

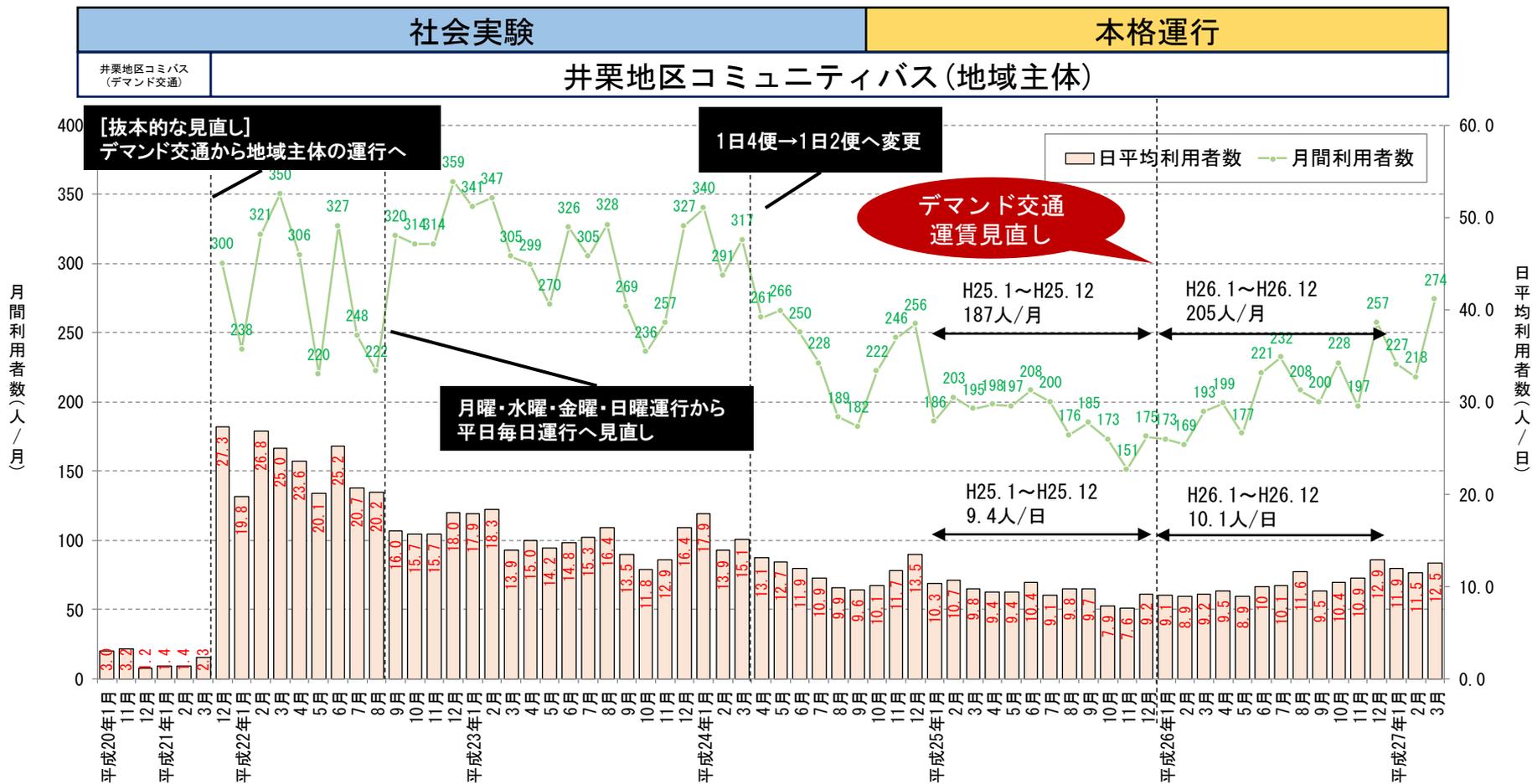


※高校生ライナー利用実績に基づき集計
 ※合計値は端数処理の関係で一致しない場合がある

3 井栗地区コミュニティバス利用実績

利用者数の推移

- 利用者数は、やや増加傾向にある。
- 日平均利用者数は10人/日程度で推移している。

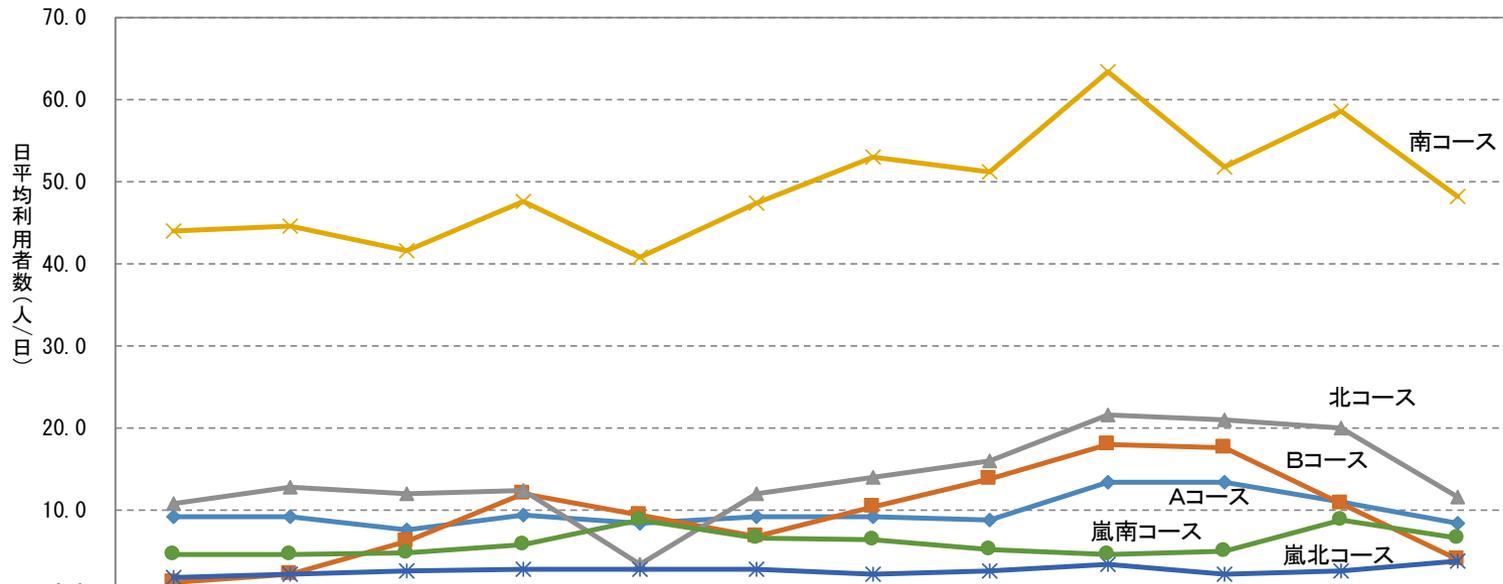


※井栗地区コミュニティバス利用実績に基づき集計

4 循環バスぐるっとさん利用実績

利用者数の推移

- 南コースの利用が約50人/日と最も多く、Aコース・Bコース・北コースは約10～20人/日である。
- H26年4月より新設された嵐北・嵐南コースは利用が少なく、認知度も低い。
(循環バス沿線住民の嵐北・嵐南コースの認知度=23% ※H26年度循環バス沿線住民アンケートより)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	1便当たり平均
◆ Aコース	9.1	9.2	7.5	9.4	8.3	9.2	9.2	8.8	13.4	13.4	11.0	8.4	9.7人/日	9.7人/日
■ Bコース	1.2	2.1	6.1	11.9	9.4	6.7	10.3	13.8	18.0	17.5	10.7	4.0	9.3人/日	9.3人/日
▲ 北コース	10.7	12.8	12.0	12.4	3.3	11.9	14.0	15.9	21.6	20.9	19.9	11.6	13.9人/日	13.9人/日
✕ 南コース	44.0	44.5	41.6	47.6	40.8	47.4	53.1	51.3	63.4	51.9	58.7	48.2	49.4人/日	8.1人/日
✧ 嵐北コース	1.7	2.1	2.5	2.7	2.7	2.8	2.1	2.5	3.4	2.1	2.5	3.7	2.6人/日	0.8人/日
● 嵐南コース	4.6	4.5	4.8	5.8	8.7	6.5	6.3	5.2	4.5	5.0	8.7	6.5	5.9人/日	1.9人/日

※市内循環バスぐるっとさん利用実績に基づき集計

5 まとめ

ひめさゆり

- 運賃見直し以降、1日当り平均利用者数が**約330人**で推移しており、H26年度の目標値(400人/日)を下回っている。
- 利用者の減少に伴い、行政負担額は運賃見直し前と比較して、約41%減少している。
- 一人乗車割合が依然として80%程度で推移しており、複数乗車促進に向けた取組について、検討が必要である。

高校生通学ライナー

- 全体的に利用者数が減少傾向にあり、利用促進に向けた取組について、検討が必要である。

井栗地区コミュニティバス

- 利用者数はやや増加傾向にあり、引き続き地域に呼び掛けを行うことで安定した利用を図っていく。

循環バスぐるっとさん

- H26年4月より新設された嵐北・嵐南コースは利用が少なく、認知度も低いことから、利用促進に向けて広報・周知などの取組が必要である。